

結核について

大阪市の結核り患率においては、都道府県・政令指定都市でワースト1という現状で、全国と比べて約2倍となっています。

※「り患率」とは…1年間に発病した患者数を人口10万人対であらわしたもの

結核とは？

結核は、結核菌を吸い込むことによってうつる感染症です。

どうやって感染するの？

感染経路は、『空気感染（飛沫核感染）』

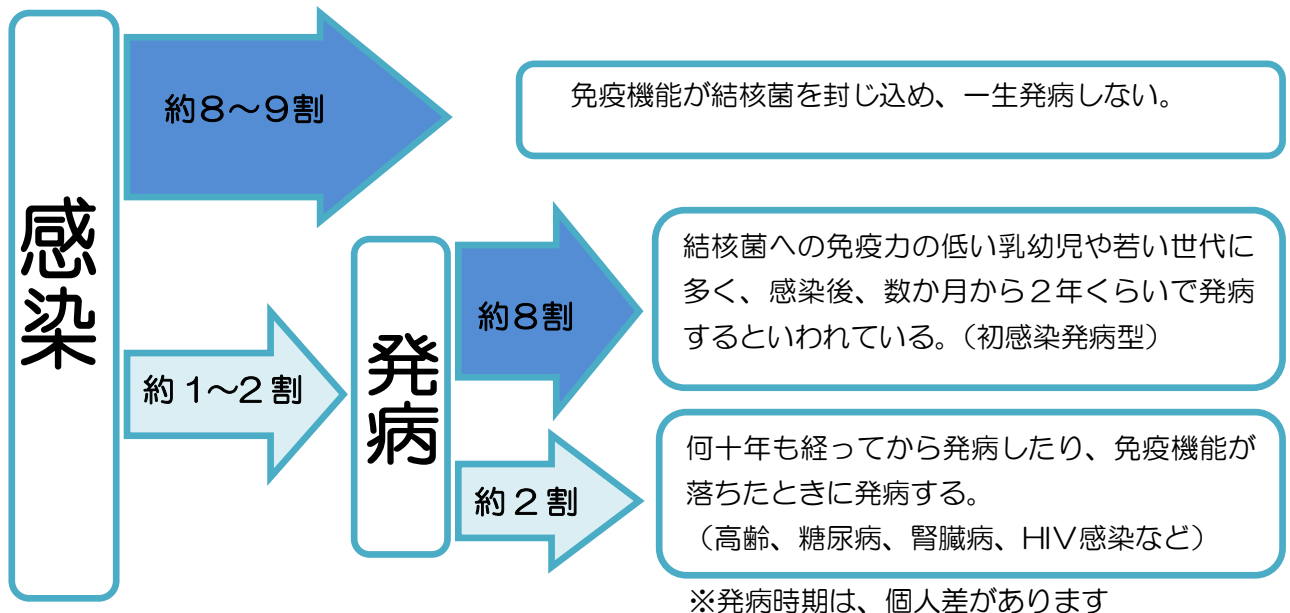
結核菌は患者のせきやくしゃみでばらまかれるしぶきに含まれて広がります。

しぶき（飛沫）の水分が蒸発して、結核菌が裸の状態（飛沫核）になると、長時間空中をただよい、その結核菌を吸い込むことによって感染します。

感染するとどうなるの？

感染しても必ず発病するわけではありません

身体の免疫の働きで結核菌の活動がおさえられていると、発病しません。結核菌に感染しても発病するのは、10人に1～2人で、約8～9割の方は一生発病しません（下図）。結核菌が免疫力に勝って肺の中で増殖しはじめると、その場所に炎症が起こり、せきや発熱を引き起こします（発病）。



感染と発病はどう違うの？

感染

肺の奥まで吸い込まれた結核菌が、肺胞に定着した状態を「感染」といいます。
症状はありません。
人にはうつしません。

発病

身体の免疫力・抵抗力の低下により結核菌が活動している状態を「発病」といいます。

【主な症状】

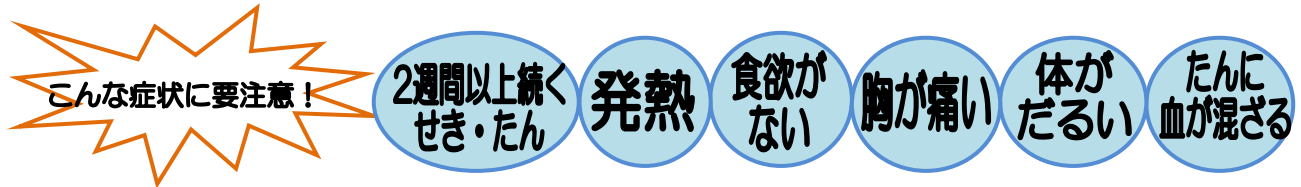
2週間以上続く
せき、たん、発熱、体のだるさ、食欲がない
（初期では症状がないこともあります。）

発病したら、他の人にうつすの？

もし、発病しても、すべての人がうつすわけではありません

結核をほかの人に感染させるのは、結核が進行し、たんの中に結核菌が出るようになった場合です。
たんの中に結核菌がない場合などは人にうつしません。

結核の早期発見のために…



疑わしい症状があるときは、早めに医療機関を受診しましょう！

結核について、もっとくわしく知りたい方は…

＜参考リンク先＞

[公益財団法人 結核予防会結核研究所](#)